

部活動の地域移行に係る アンケート調査結果

令和5年7月

倉敷市教育委員会 保健体育課

1 調査目的

スポーツ庁及び文化庁が公表した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的ガイドライン（令和4年12月）」では、今後の部活動に関して、少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するとともに、教職員の働き方改革を進める必要があるとされ、まずは、休日の部活動の在り方を検討するとの方向性が示されました。

倉敷市教育委員会においては、このガイドラインの趣旨を踏まえ、部活動の地域移行に係る意向等を把握するため、生徒・保護者・教職員・校長・部活動指導員を対象にアンケート調査を実施しました。

2 調査の概要

調査対象者	回答数	調査期間	冊子掲載頁
生徒（中学1・2年）	5,466人／8,511人	令和5年2月	2～5頁
保護者（中学1・2年）	2,163人／8,511人		6～7頁
教員	704人／828人	令和4年12月	8～11頁
校長	26人／26人	～令和R5年1月	12～13頁
部活動指導員	37人／37人	令和5年2～3月	14～16頁

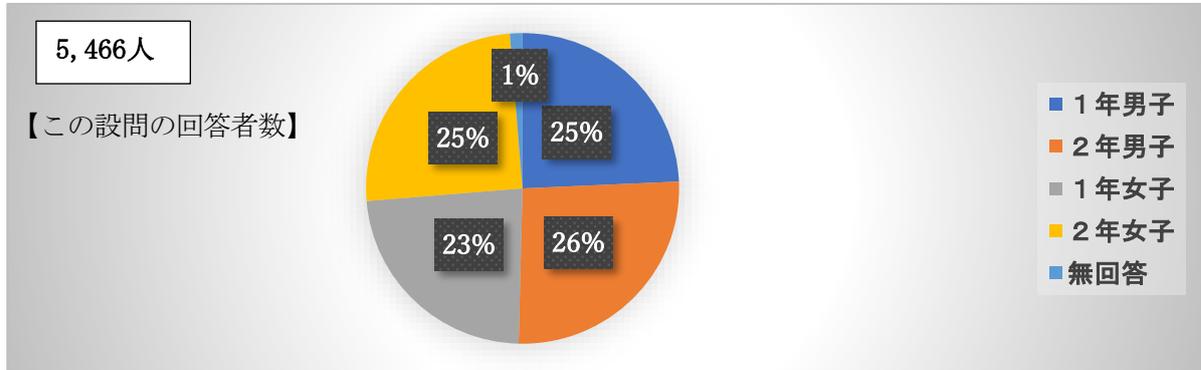
※回答数のうち、分母は令和4年5月1日時点の対象者数

3 調査結果

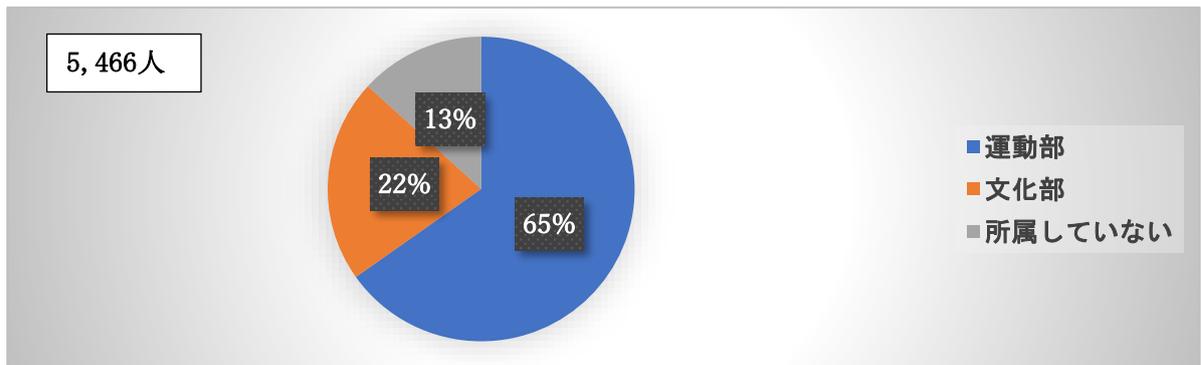
(1) 生徒（中学1・2年）

5,466人回答

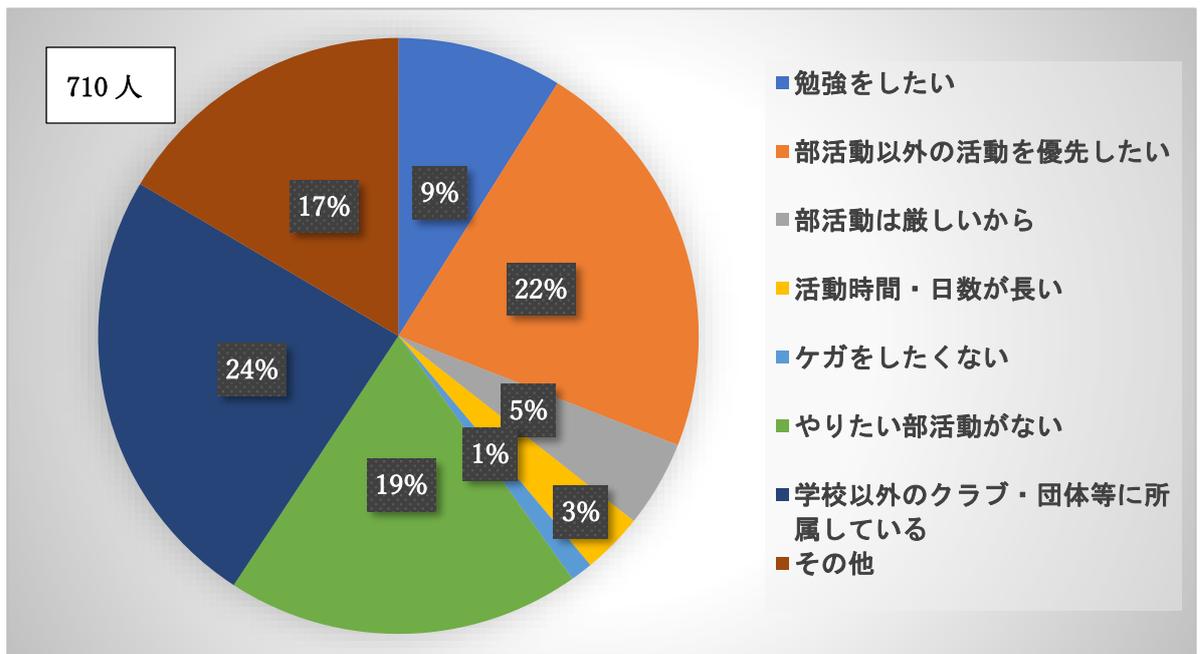
問1. あなたは何年生ですか？



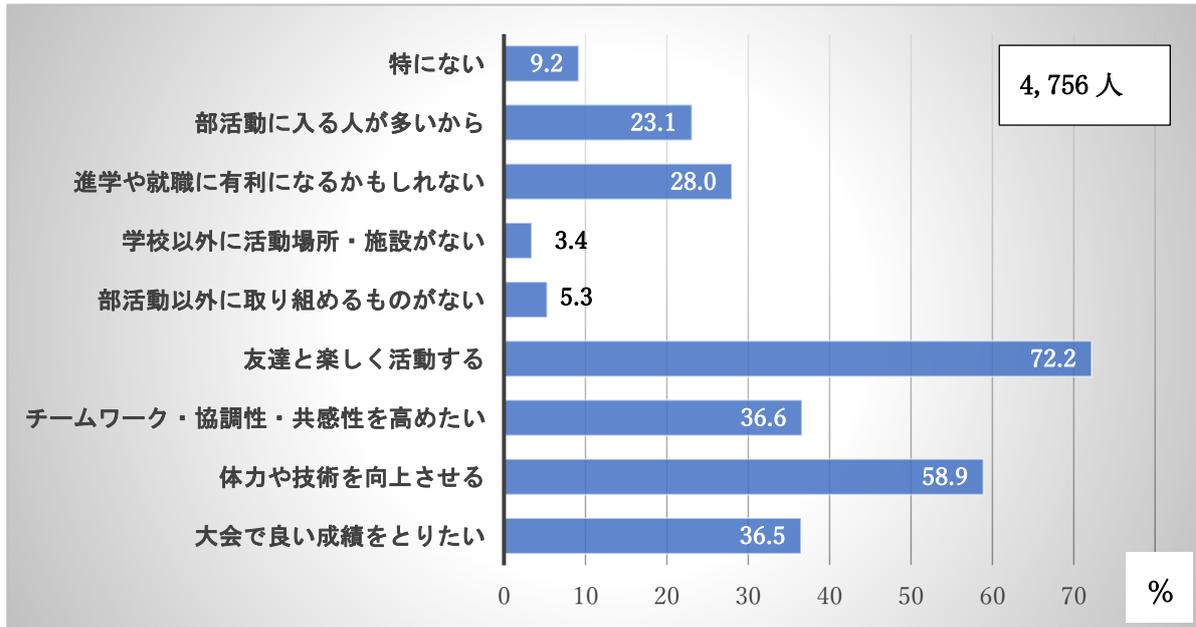
問2. あなたは部活動に所属していますか？



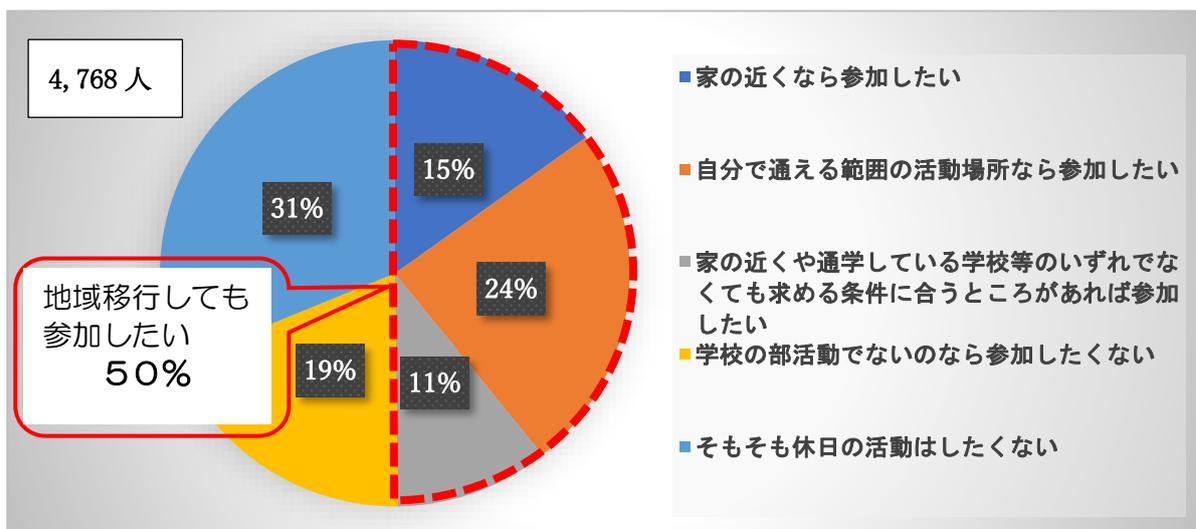
問3. 「問2」で「所属していない」方で、部活動に所属していない最大の理由は何ですか？



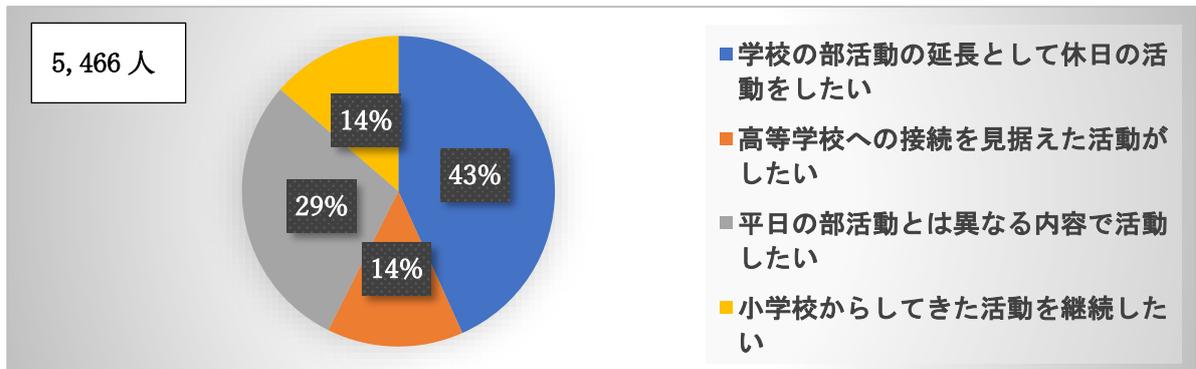
問4. 「問2」で「運動部」か「文化部」の方で、なぜ部活動をしていますか？（複数回答可）



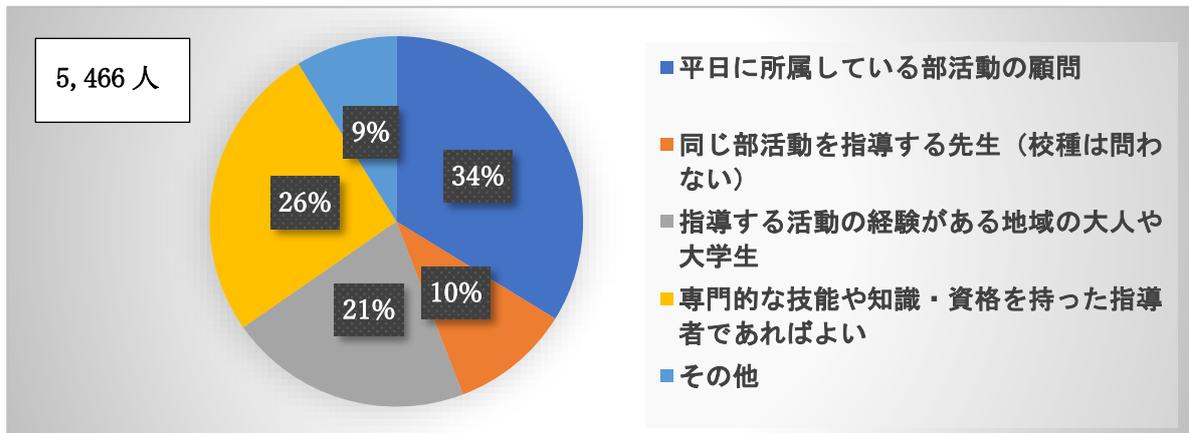
問5. あなたは休日の部活動がなくなったら地域スポーツ・文化活動に参加したいですか？



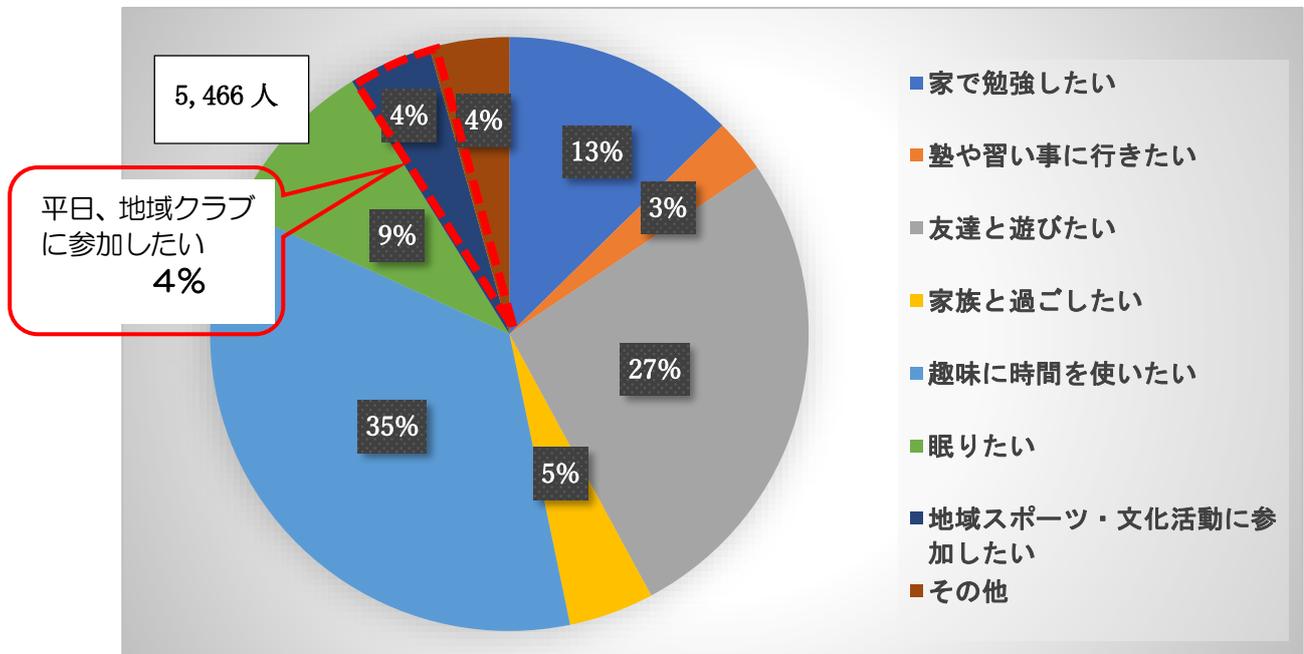
問6. もしあなたが休日の地域スポーツ・文化活動に参加するとしたら、どのような活動をしたいですか？



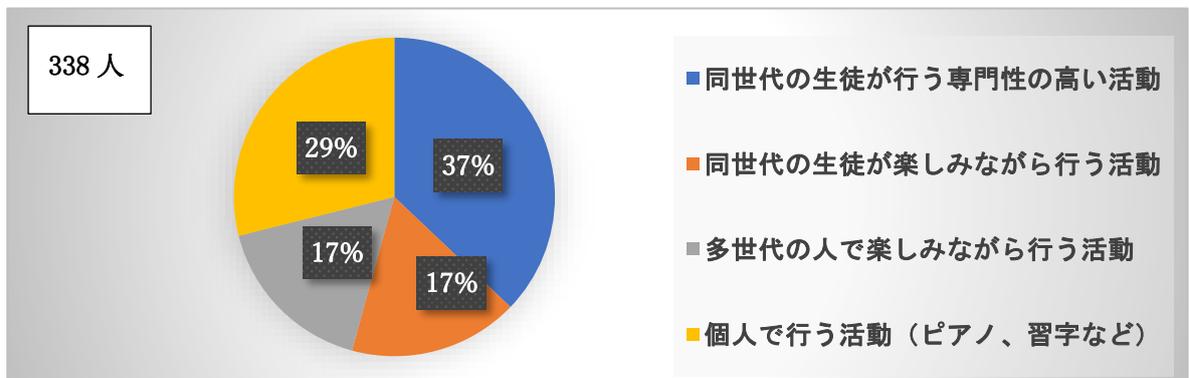
問7. もしあなたが休日の地域スポーツ・文化活動に参加するとしたら、どのような指導者がいいですか？



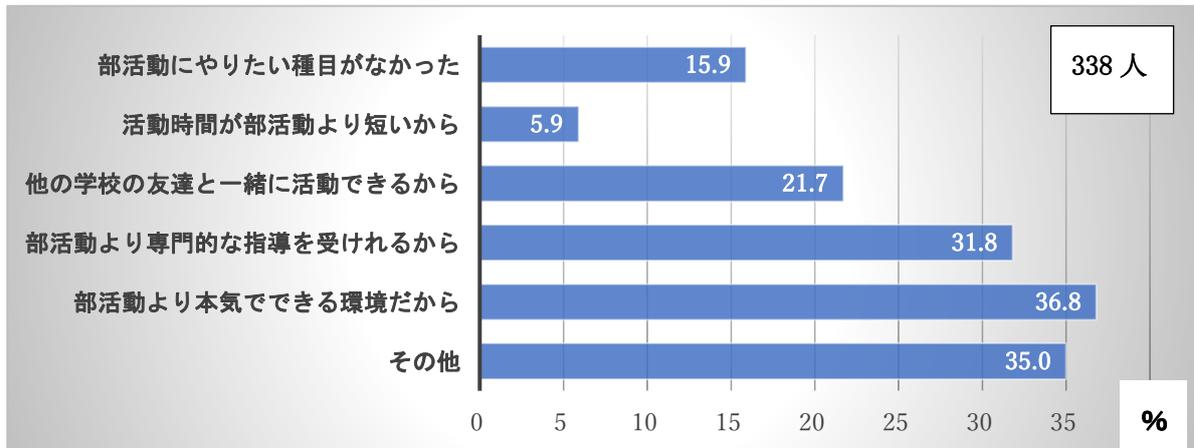
問8. もしも平日の部活動が無くなった場合には、その時間を使って何が一番したいですか？



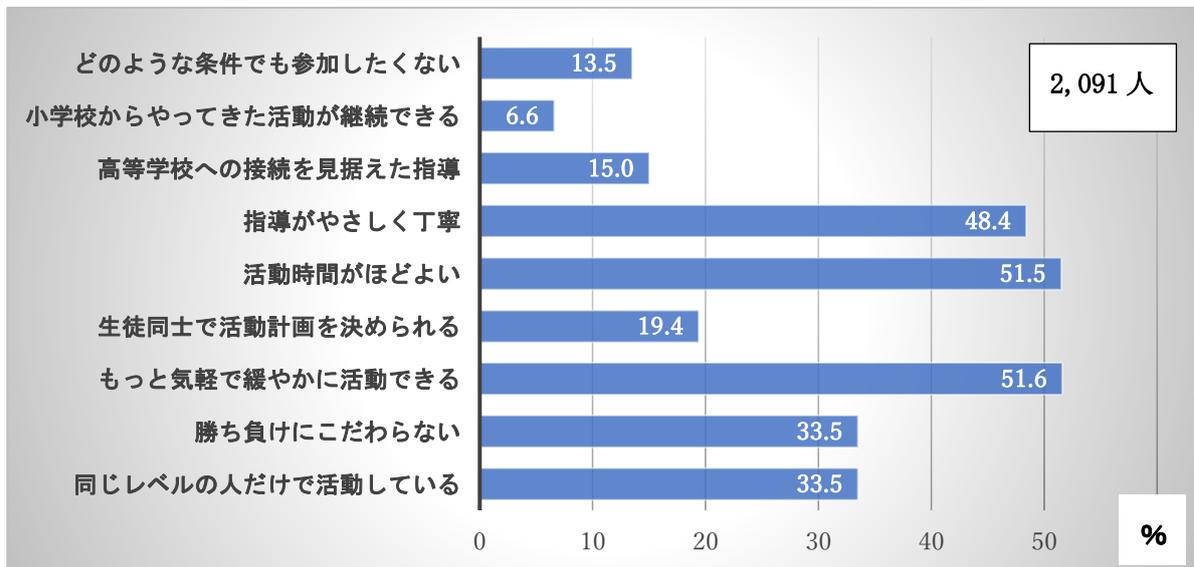
問9. クラブチーム等に所属している人はどのようなクラブですか？



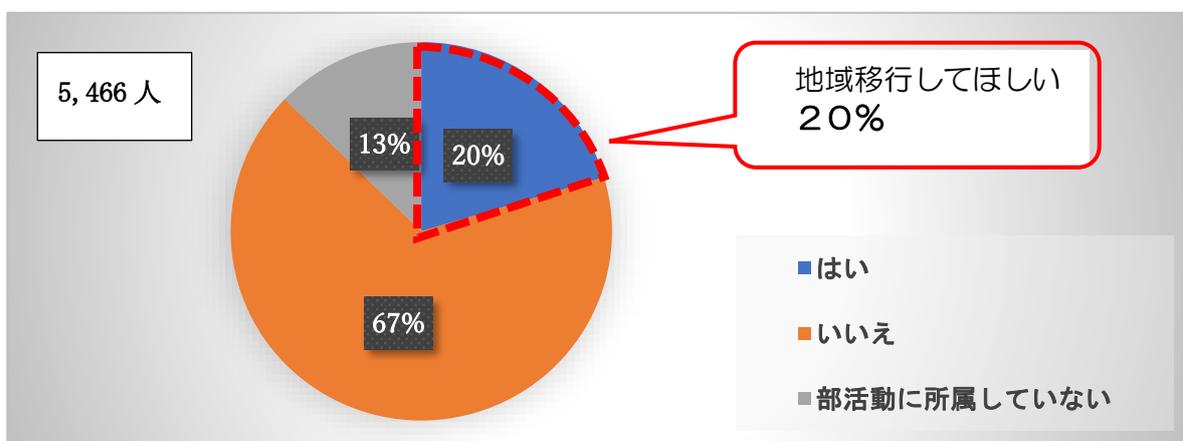
問 10. クラブチーム等に所属している人で、そのクラブを選んだ理由は何ですか？（複数回答可）



問 11. クラブチーム等に所属していない人で、どのようなクラブなら参加しようと思いますか？（複数回答可）



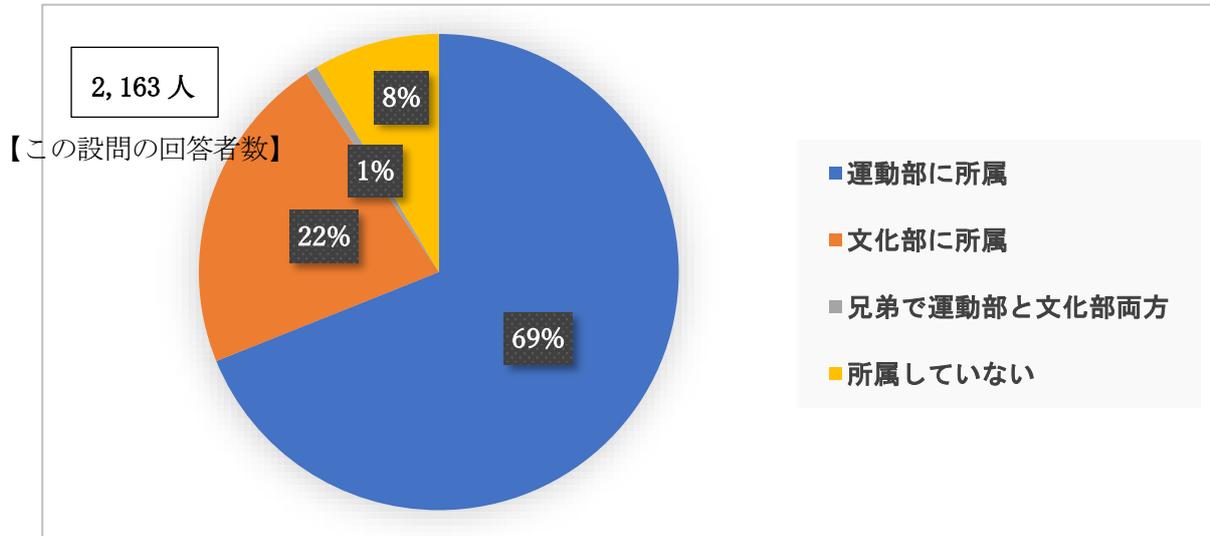
問 12. 今所属の部活動が、地域スポーツ・文化活動になって欲しいと希望しますか？



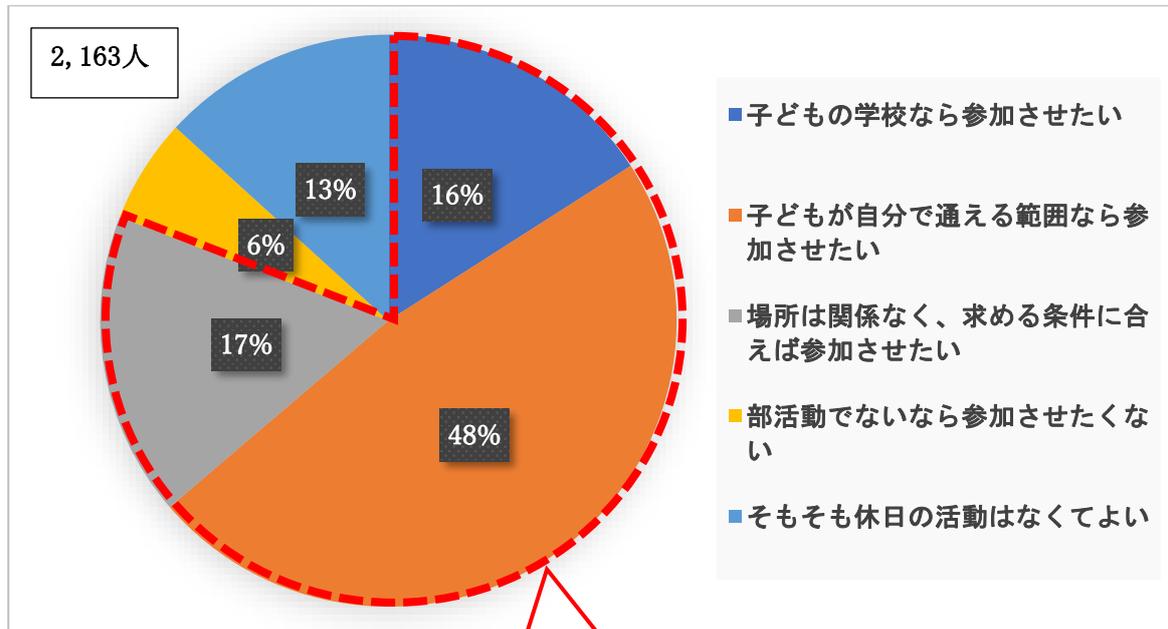
(2) 保護者（中学1・2年）

2,163人回答

問1. お子さんは、部活動（運動部・文化部）に所属していますか？

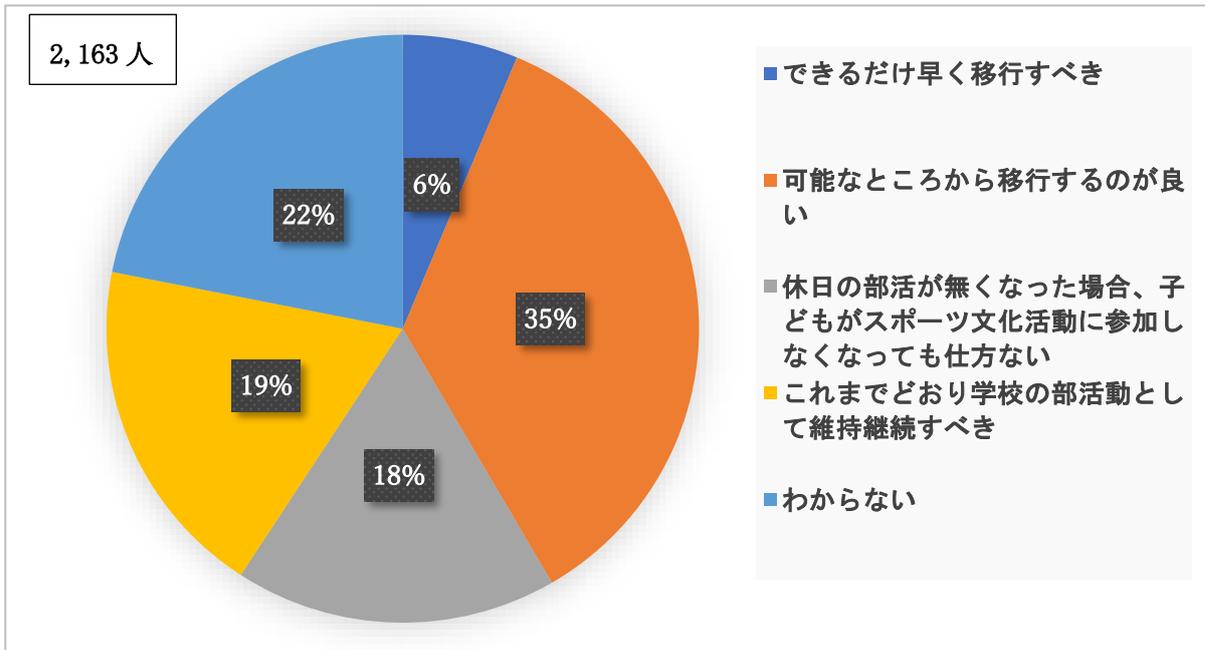


問2. 休日の部活動が無くなった場合、地域クラブにお子さんを参加させたいですか？

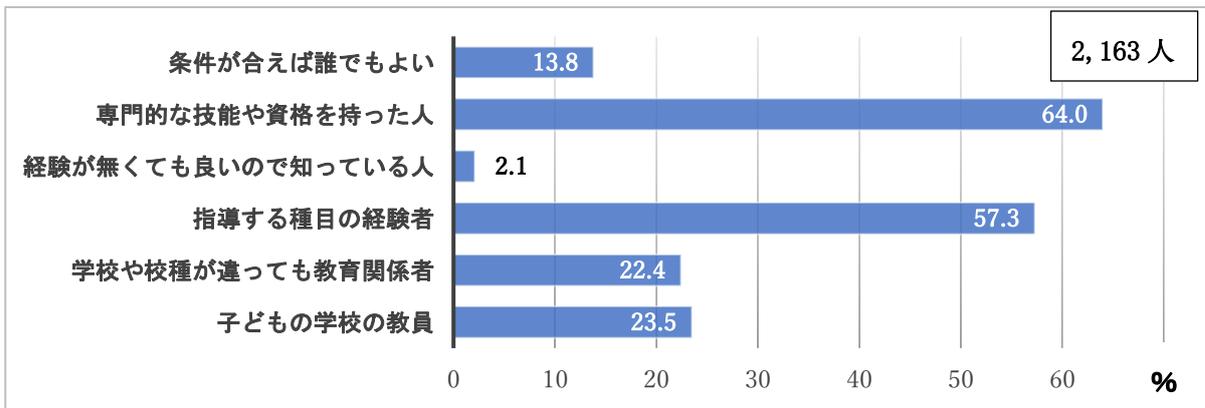


休日が地域クラブになっても
条件が合えば参加させたい
81%

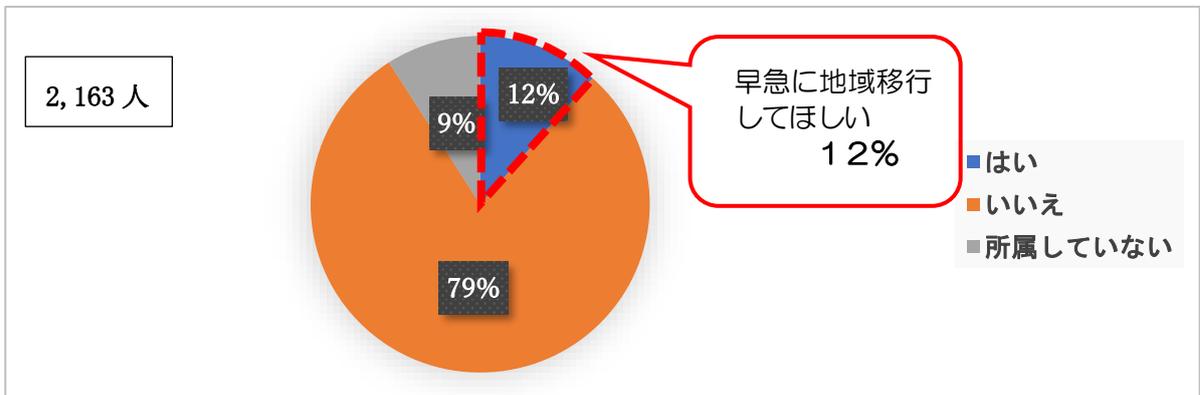
問3. 休日の部活動が地域クラブ等に移行することについてどのように考えますか？



問4. お子さんを地域クラブ等で活動する場合どのような指導者がよいですか？（複数回答可）



問5. お子さんが所属している部活動を早急に地域移行することを望まれますか？



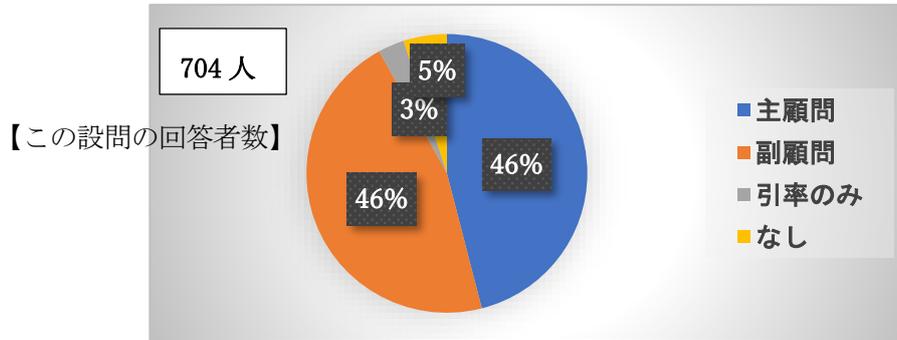
(3) 教員

704人回答

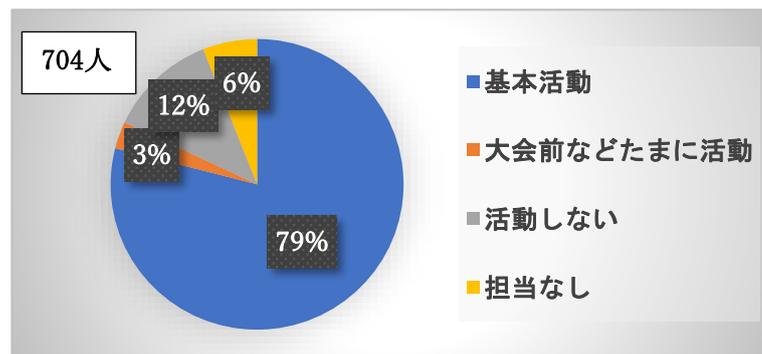
問1. あなたが担当している部活動は？

種類：運動部14 文化部16 (顧問数多いのはソフトテニス、バスケ、バレー)

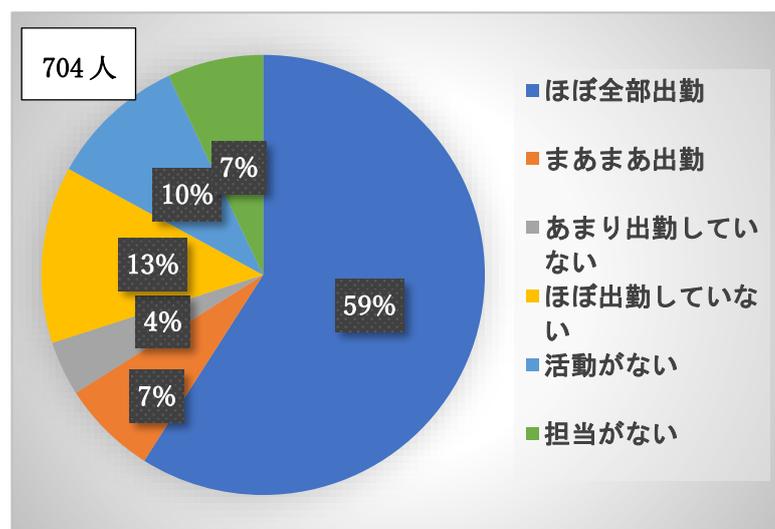
問2. 部活動顧問の立場は？



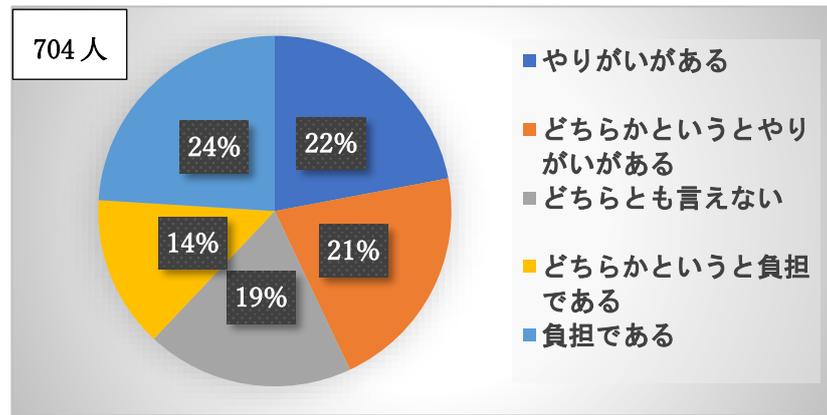
問3. あなたが担当している部活動は土曜や日曜も活動しているか？



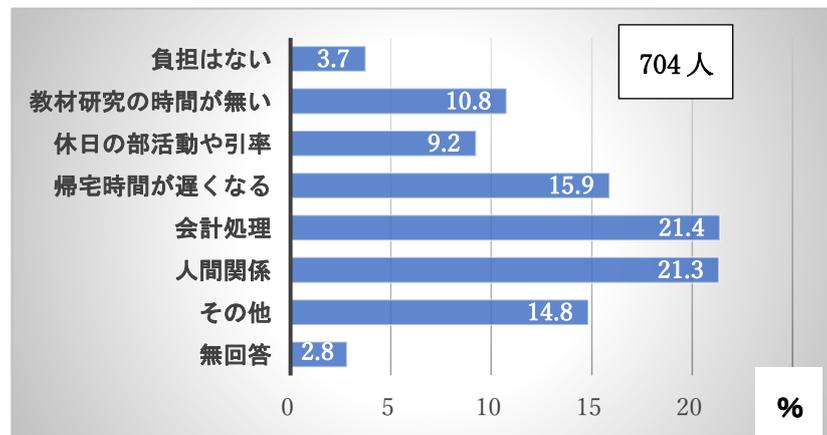
問4. 土曜や日曜に部活動がある時、どれくらい行かれているか？



問5. 部活動の指導についてどのように思われるか？



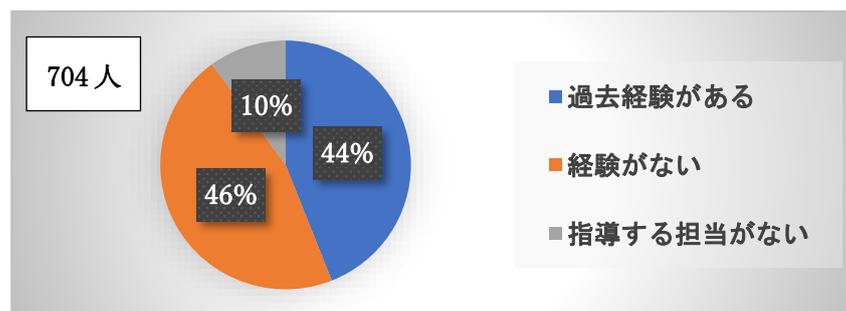
問6. あなたが、部活動の顧問をする場合、負担に感じることは？



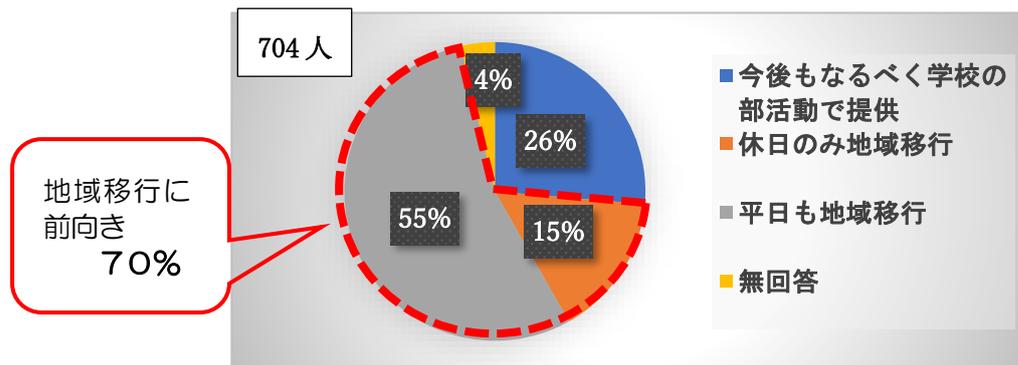
問7. 「問6」で「その他」と回答した人でその内容は？

- ・けが、熱中症、登下校の安全配慮
- ・自分の家族の理解
- ・予定表の作成
- ・交通費などの経済的負担
- ・大会の運営や準備
- ・部に関わらない教員への不公平感
- ・大会での審判
- ・顧問が実質1人
- ・朝練で保育園の送迎ができない
- ・体力的限界
- ・保護者の要求
- ・自分の時間がない
- ・危険性の高い競技なのに経験がない部をもつ
- ・大会へのエントリー
- ・指導できる教員数がない
- ・うまくいっている部活動まで制限される風潮
- ・負担以上の喜びがある

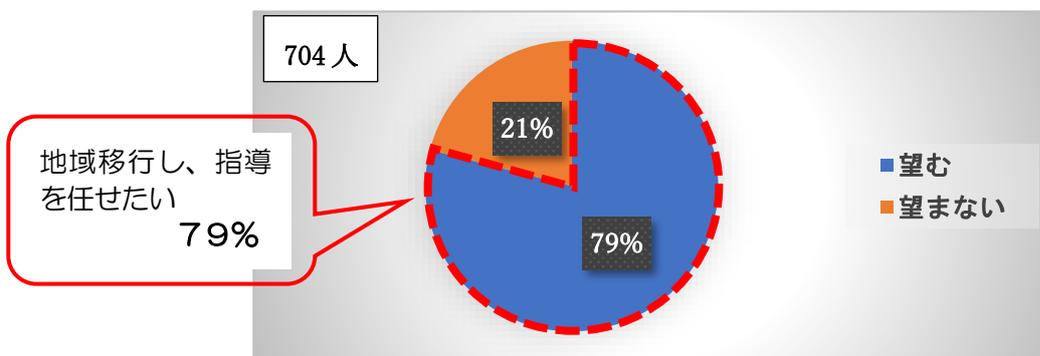
問8. 今、担当している部活動の自身の経験・指導経験について当てはまるものは？



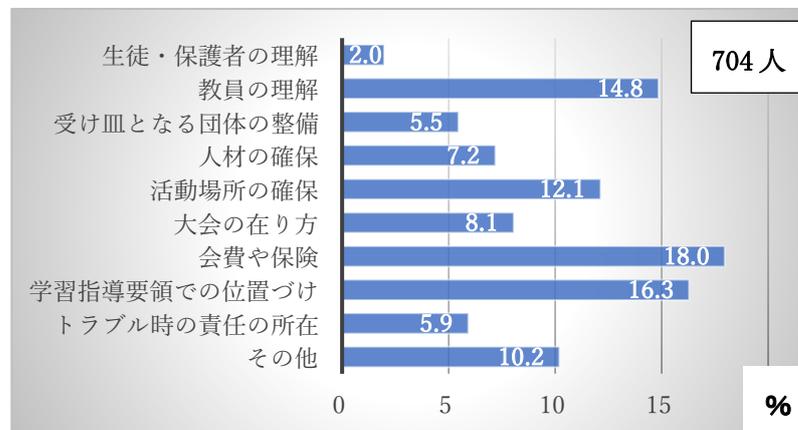
問9. 「部活動の地域移行」について、自分の考えに1番近いものは？



問10. 今担当している部活動が地域移行でき、顧問をしなくてよくなればそれを望むか？



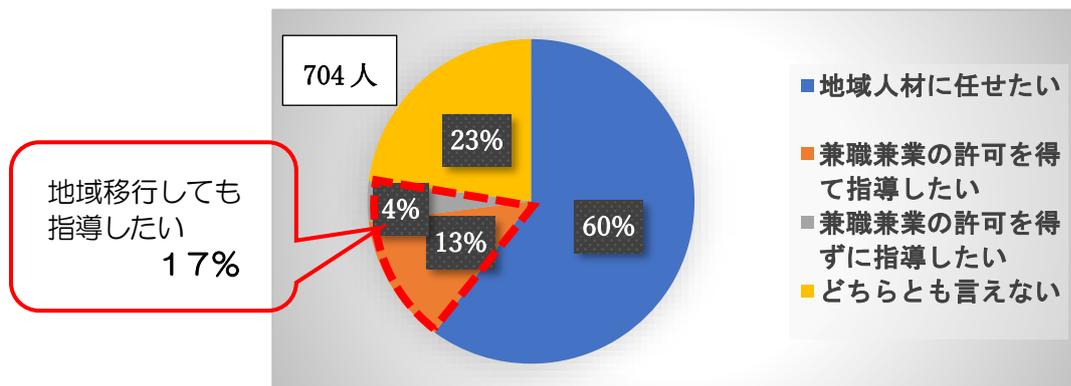
問11. 「地域移行」するにあたって課題や困難なことは何だと考えるか？



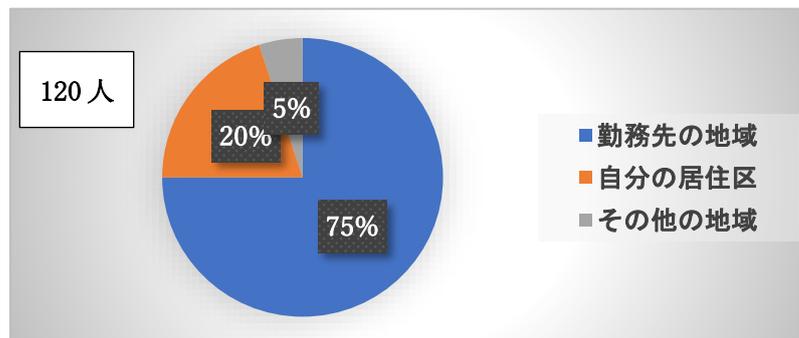
問12. 「問11」で「その他」と回答した人でその内容は？

- ・平日と休日の指導連携
- ・財源の確保
- ・練習場所までの移動や運搬（吹奏楽）
- ・費用がかかると参加できない生徒が増える
- ・大会運営は誰がするのか
- ・指導者の適正や研修体制が不明瞭
- ・楽器の管理や修理代
- ・競技人口は減る
- ・練習時間等が生徒の都合でなく指導者の都合になるかも
- ・不登校が増える
- ・部活動で成長している生徒が見られなくなる
- ・生徒指導面で影響がある
- ・部活動としてだからこそ指導をしたい教員の気持ちはどうなる

問 13. 休日の部活動が地域移行された場合、あなたはどうしたいか？



問 14. 「問 13」で「■」「■」を選択した人はどこで指導がしたいか？



問 15. 「問 13」で「■」「■」を選択した人は何（種目等）の指導がしたいか？

野球 2 2 人 サッカー 1 4 人 ソフトテニス 1 7 人 テニス 1 人 ソフトボール 2 人
 陸上競技 1 人 投擲種目 1 人 長距離走 1 人
 バレーボール 1 3 人 バasketボール 1 0 人 ハンドボール 4 人 卓球 5 人
 バドミントン 5 人 柔道 5 人 剣道 1 人 空手 1 人 レスリング 1 人
 吹奏楽 1 1 人 マーチング 2 人 オーケストラ 1 人 音楽 1 人 合唱 1 人
 茶道 1 人 書道 1 人
 種目にこだわらない 5 人

(4) 校長

問1. 地域移行についてどのように思うか。

- ・日本の未来のスポーツ振興のことを考えると推進すべき。
- ・指導員と顧問の受け渡しがスムーズに行えるか。
- ・学校単位でなく自治体単位で進めて欲しい。
- ・中途半端なものになって欲しくない。
- ・教員の働き方改革の観点から早期に実現して欲しい。 等

問2. 学校の部活動で困っていることはあるか。

ある88% ない12%

問3. どのようなことで困っているか。

- ・専門的な指導ができる教員が少ない上、保護者の期待は決して小さくない。
- ・部活動に積極的にかかわりたくない教員が増えてきている。
- ・正規教員が少なく、非常勤講師が多いため部活動の顧問を割り当てることができない。
- ・専門性のあるなしに関わらず、指導していかななくてはならないという現実。

問4. 学校に早く地域移行したい部活動があるか。

ある73% ない27%

問5. その部活動は何か。

学校により様々（特に偏った傾向はない）

問6. その部活動を早く地域移行したい理由。

- ・部員数が少なく自校だけではチームが組めない。
- ・技術面など専門的な指導ができない。
- ・そもそも学校規模によって生徒が希望する部活動(種目)がない。
- ・持ちたくなくても仕方なく部の顧問をしている教員を開放してあげたい。 等

問7. その部活動が地域移行できた場合に不安なことはあるか。

- ・勝利至上主義に走る恐れはある。
- ・平日の部活動と休日の部活動とでの指導方法等の教育的立場を共有できるか否か。
- ・指導者とのトラブルを学校に持ち込まれること。 等

問8. その部活動を地域移行するには、どの方法がふさわしいか。

- ・すでに地域で活動している団体（あてがある）にお願いする 8%
- ・その部活動に地域の指導者を配置して移行する 48%
- ・休日はとりあえず地区（倉敷、水島、児島、玉島、真備）内の他の学校と合同で行うところから始める 36%
- ・その他 8%

問9. その他の内容

- ・倉敷市内で、中学生の指導が可能な競技団体を募集して登録リストを作り、そのリストの中から保護者や生徒が所属する団体を選択する方法が良いと思う。一つ一つの部地域の既存の競技団体の実態に応じて少しずつ地域移行していくのは煩雑で負担は大きいのではないか。
「倉敷市は〇年から完全移行」として一気に進めた方が保護者や生徒の立場で考えても先の見通しが立つと思う。
- ・スポーツ庁の発言は、学校から部活動をなくしたい、学校の教員より指導力の高い人材によって子どものスポーツ振興を図りたい、という思いが感じ取れるので中途半端に学校・教員が関わって混乱をまねくという方法はとりたくない。「地域のスポーツクラブ」としての制度が確立するまでは、今の状態を粛々と続ける方がよいのでは。部とクラブの混在により大会運営上の工夫も必要になるが、参加クラブの協力が得られなければ各種大会を終了することもやむを得ない考える。 等

問10. 部活動と地域団体が両方活動する状態の時に、休日地域団体が学校施設を利用するには、どのようなアイデアがあるか。

- ・土曜日と日曜日を、土曜日は部活動、日曜日はクラブの日などと割り振る。
- ・中学校の部活動を優先して、空いた時間帯を使ってもらう。
- ・学校施設なので中学生を中心とした地域団体が優先利用できるようにする。 等

(5) 部活動指導員

対象者数 運動部30人 文化部7人

(各回答の人数には無回答や延べ数も含む)

問1. 一人で指導にあたる頻度はどのくらいですか？

	運動部	文化部
1 ほぼ毎回	7人	3人
2 半分くらい	13人	3人
3 たまにあるくらい	8人	1人
4 ほとんどない	2人	0人

問2. 顧問教員との連絡・調整はできていますか？

	運動部	文化部
1 十分できている	21人	5人
2 できている	9人	2人
3 あまりできていない	0人	0人
4 できていない	0人	0人

問3. 来年度から部活でなく地域クラブとして行えるなら指導したいですか？

	運動部	文化部
1 ぜひ指導したい	6人	2人
2 指導してもよい	8人	2人
3 状況によってはするかも	13人	1人
4 それなら指導したくない	3人	1人

問4. もし休日の部活が全国一律になくなら地域クラブで指導したいですか？

	運動部	文化部
1 ぜひ指導したい	6人	2人
2 指導してもよい	5人	2人
3 状況によってはするかも	16人	1人
4 したくない	3人	1人

問5. もし平日の部活も全国一律になくなら平日も地域クラブで指導したいですか？

	運動部	文化部
1 ぜひ指導したい	4人	1人
2 指導してもよい	6人	2人
3 状況によってはするかも	17人	2人
4 したくない	3人	1人

問6. 地域クラブをもしすることになったら、どのような形で指導したいですか？

	運動部	文化部
1 今所属する部活動を母体にクラブにする	13人	3人
2 居住地域にクラブをつくる	2人	1人
3 母体があるところに所属して指導員をする	13人	2人
4 その他	0人	2人

問7. 部活動の地域移行について、何かあれば回答ください。

○ 陸上競技

- ・ センター的な役割の部署がどこなのか、保護者との連携がどうなのか、まだ不明だと思う
- ・ 部活動が地域移行することで、子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の機会が減ることが心配です。

○ サッカー

- ・ 毎週指導員を確保することは難しいかも。
- ・ 単独での指導はハードルが高いと思う。

○ ソフトテニス

- ・ 部活動は学校生活の一部であるべきと考えている。学校と連携してこそ部活動と思う。
- ・ 教員として、その後部活動指導員として、関わってきた者として「教員の負担軽減」から発想するのではなく、子どものスポーツ・文化芸術活動の継続の観点から、考えることが大切だと思う。
- ・ 地域移行には反対です。

○ バasketボール

- ・ 施設や先生方の協力が不可欠かと思う。

○ バレーボール

- ・ 地域移行するのであれば、クラブチームやその他の団体の指導員や練習場所を充実させな

いといけないと思う。

- ・ クラブの新規立ち上げのサポートをして欲しい。
- ・ 地域移行は、岡山では時期尚早だと思う。その前にやることがあると思う。全国都道府県をすべて同じやり方にする必要はないのではと思う。

○ 卓 球

- ・ 部活動の完全地域移行には練習の場、保護者の負担も多くある。スポーツや文化活動をしたくてもできない生徒も出てくる。また生徒の協調性や自主性など今まで部活動で培ってきたものも身につけにくくなる。部の数を減らしてでも各学校で可能な部活動は続けて欲しい。

○ バドミントン

- ・ 教員の働き方改革に向けて、部活動指導員という形で貢献出来て良かったと思う。

○ 剣 道

- ・ 活動母体がある団体による地域移行を計画しているが「部活動の地域移行」に関する詳細（市や地区をまたいで所属している選手の大会への参加、個人のみ大会への参加などの条件）が未定であり、移行へのスピード感がないと感じている。
- ・ 解決しなければならないことが多すぎると思う。例えば会計、生徒指導面の情報共有、経済的な支援、管理責任など。

○ 文化 部（音楽系）

- ・ 現状の部活動指導員の活動で個人的には満足しているが、今後部屋を利用して行う部活動は難しいところも出てくると思う。
- ・ 教員の負担軽減のために、自分の得意分野で指導のお手伝いをできることはいいことだと思う。
- ・ 全ての面で責任の所在がどうなのかがはっきりしないと難しい。また、楽器の購入やメンテナンス、報酬等の金銭面はどうなのか。